

【所属学会における活動等】

<p>所属学協会と役職歴</p>	2009年～現在	応用物理学会 会員
	2010年～現在	プロジェクトマネジメント学会 会員 (2012年6月～2016年4月「R&Dプロジェクトマネジメント研究会」主査)
	2011年～2018年	日本経営学会 会員
	2012年～現在	日本生産管理学会 代議員(2014年1月～現在)
	2012年～2018年	日本経営システム学会 会員
	2012年～2018年	電気学会 会員
	2012年～現在	日本太陽エネルギー学会 会員
	2012年～2018年	エネルギー・資源学会 会員
	2013年～現在	国際P2M学会 評議員, 第20回秋季研究発表大会 実行委員長(2015年10月), 第3回国際会議副実行委員長(2015年10月), 第5回国際会議実行委員長(2017年10月)) 大会企画副委員長(2017年10月～)
	2013年～現在	標準化研究学会 理事(2014年4月～現在)
	2013年～現在	日本ベンチャー学会 会員
	2013年～2018年	日本経営工学会 会員
	2014年～現在	公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会(JIIMA) 委員
	2014年～現在	日本工学教育協会 会員
	2015年～現在	日本プロジェクトマネジメント協会 理事
	2015年～現在	Innovation Management and Industrial Engineering (IMIE) International Committee Member
	2016年～現在	研究・イノベーション学会 会員
	2016年～2018年	産業学会 会員
	2016年～現在	International Symposium on Economics and Social Science (ISESS) Conference Local Chair
	2016年～現在	International Conference on Engineering and Natural Science (ICENS) Conference Local Chair
2016年～現在	International Conference on Hospitality, Leisure, Sports, and Tourism (HLST) Conference Local Chair	
2016年～現在	International Conference on Library and Information Science (LIS) Conference Local Chair	

## ○研究会の主宰

・「R&D プロジェクトマネジメント研究会」を、2012 年より主宰し、現在に至る。産官学の会員約 100 名が登録。隔月で定例会と講演・討論会を開催。研究成果は、査読論文や国内外の学会で発表するとともに、毎年 1 回シンポジウムを開催して一般に公開（計 6 回）。毎年約 100 名の聴講者が参加している。

## 【社会における活動等】


- ・光記録に関する以下の規格化団体において、規格化に貢献した。
- ・光記録に関する技術ロードマップの策定に貢献した。
- ・南房総市の地方創生事業において「新規水耕栽培による農業活性化」に貢献。（2016 年～現在）。  
毎年度末にプロジェクト成果発表会で発表（計 30 回）

## 【賞罰】

賞罰・受賞歴	2017 年 8 月	Distinguished Paper Award of ICENS "Technical Role and Future Trend of IoT in an Environmental Business"
	2017 年 9 月	Best Paper Award of ICPM "Empirical research on quantitative evaluation by the modified model for the R&D project management"
	2017 年 9 月	Excellent Paper Award of ICPM "Current status of apparel recycling in Japan and related issues"
	2017 年 9 月	Excellent Paper Award of ICPM "New R&D Developing Method Based on Customer Request to the Darwinian Sea"
	2017 年 9 月	Excellent Paper Award of ICPM "Viewpoint of Service Strategy for the Manufacturing Industry"
	2016 年 7 月	Outstanding Paper Award of ISESS "A Study of Abernathy and Utterback Multi-layer Model for Photo-Voltaic Business Strategy after Feed-in Tariff System in Japan"
	2004 年 11 月	富士フイルム株式会社 全社表彰 個人 A 賞（社長賞） 「DVD±R 高速記録用色素・処方技術開発と色素市場への新規参入の件」
	1991 年 3 月	オーディオ銘機賞 特別賞 技術開発賞

**【これまでに担当した科目】 ※15回以上のもののみ記載**

- ・ベンチャービジネス論 (社会システム科学部 1年生向け)
- ・ナレッジマネジメント (社会システム科学部 1年生向け)
- ・スケジューリング技法 (社会システム科学部 2年生向け)
- ・研究開発技法 (社会システム科学部 3年生向け)
- ・ものづくりマネジメント (社会システム科学部 3年生向け)
- ・ゼミ1 ドラッカーのマネジメント (社会システム科学部 3年生向け)
- ・ゼミ2 ものづくり国際経営戦略 (社会システム科学部 3年生向け)
- ・プロジェクトマネジメント実験 (社会システム科学部 2年生向け) ※PBLによるビジネス創成演習
- ・プロジェクトマネジメント演習 (社会システム科学部 3年生向け) ※PBLによるビジネス創成演習(会計・財務を含む)
- ・環境マネジメント特論 (大学院修士課程 社会システム科学研究科 1年生向け)
- ・戦略的プロジェクトマネジメント特論 (大学院修士課程 社会システム科学研究科 1年生向け)
- ・Strategic Project Management (英語) (大学院修士課程 社会システム科学研究科 留学生 1年生向け)
- ・イノベーション・マネジメント特論 (大学院修士課程 社会システム科学研究科 1年生向け)
- ・Innovation Management (英語) (大学院修士課程 社会システム科学研究科 留学生 1年生向け)

[研究論文指導] ※いずれも正指導員の実績のみ記載(2011年より, 大学院後期博士指導資格  保有.)

- ・卒業論文指導 約 100 名
- ・修士論文指導 4 名(現在在籍中の 1 名を含む. 内留学生 2 名)
- ・博士論文指導 8 名(現在在籍中の 2 名を含む. 全員社会人大学院生. 内 3 名大学教員に着任.)

## 【外部資金獲得歴】

<p>外部研究費や 公的研究費の 取得状況</p>	<p>①科学研究費補助金（研究代表者）研究活動スタート支援（2010～2011年度）230万円 ・研究課題名：太陽電池産業におけるものづくりの国際経営戦略に関する調査研究</p> <p>②科学研究費補助金（研究代表者）基盤（C）（2016～2018年度）481万円 ・研究課題名：高効率水耕型ソーラーシェアリングシステムの基礎研究</p> <p>③ちばぎん研究開発助成制度（受託研究）（2017年度）125万円 ・研究課題名：低架型水耕ソーラーシェアリングシステムの研究開発</p> <p>④千葉工業大学 附属総合研究所 科学研究助成金（研究代表者）（2011年度）60万円 ・研究課題名：PVメガフロートにおける「ものづくりプロジェクトマネジメント技法」の研究</p> <p>⑤千葉工業大学 附属総合研究所 科学研究助成金（研究代表者）（2012年度）50万円 ・研究課題名：アジアのスマートグリッド産業ものづくり国際経営戦略</p> <p>⑥千葉工業大学 附属総合研究所 大学院機能高度化助成金（研究代表者）（2013年度） ・研究課題名：リチウムイオン電池産業のものづくり国際経営戦略（2013年度）30万円</p> <p>⑦千葉工業大学附属総合研究所助成研究フォーラム（2012～2015年度）研究代表者 ・R&amp;Dプロジェクトマネジメント研究会 142万円</p>
-----------------------------------	--

## 【その他特記すべき事項】

<p>特記事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境共生都市ビジョン懇話会 委員（2013～「2015年）</li> <li>・R&amp;D PM研究会 会長（2012年～現在）</li> <li>・（財）化学技術戦略推進機構 物質・プロセス委員会委員（1999年～2001年）</li> <li>・NEDO 委託事業「太陽光発電共通基盤技術の研究開発」「社会システム構築分科会」委員</li> <li>・（公社）日本文書情報マネジメント協会（JIIMA）認証審査委員会 委員（2014年～現在）</li> </ul>
-------------	--

#### 【特許】

(1993年2月)「METHOD FOR PRODUCING SHEET-FORMED RECORDING MEDIUM」

米国特 5186976

(2003年5月)「複合記録媒体」 特許第 3426332 号

(2006年2月)「METHOD OF MANUFACTURING OPTICAL RECORDING MEDIUM」

米国特許 6994892

(2009年5月)「OPTICAL DISK AND METHOD FOR IMAGE FORMING THEREON」

US2009/0129253

(2009年5月)「OPTICAL DISK SYSTEM, OPTICAL RECORDING APPARATUS, IMAGE DRAWING METHOD AND OPTICAL DISK」 US2009/0135708

(2009年6月)「OPTICAL DISK IMAGE FORMING DEVICE, OPTICAL DISK IMAGE FORMING METHOD AND OPTICAL DISK」 US2009/0147631

(2010年1月)「光ディスク処理装置」 特許 4446950 号

(2010年2月)「光ディスク画像形成装置」 特許 4454559 号

#### 【招待講演】

- ・ 2013年「技術移転に係わる目利き人材育成研修」で「プロジェクトの構築」を招待講演（独立行政法人科学技術振興機構からの委託により、公益財団法人 全日本地域研究交流協会から依頼された）。
- ・ 2014年「台湾工業技術研究院主催の産業振興に関するシンポジウム」での招待講演の依頼を受け、「中国を中心とする太陽電池産業のものづくり国際経営戦略に関する研究成果と、中国市場における日台共同戦略の可能性」について講演。
- ・ 2015年 日本プロジェクトマネジメント協会第197回例会で招待講演「価値創造をもたらす R&D PM」
- ・ 2015年 「PMI JAPAN FORUM 2015」での招待講演「PBLを用いたビジネス創成教育」
- ・ 2017年 澤田経営道場（第3期）で「ソーラーシェアリング」を講義
- ・ 2017年 太陽エネルギー学会主催講演会「太陽エネルギー利用技術と農林水産業の融合」において「水耕型ソーラーシェアリング」を招待講演。
- ・ 2017年 “The 5th International Conference on Project & Program Management”（フィリピン大学）で基調講演  
「INNOVATION FOLLOWS STRATEGY- Aiming to realize Super Smart Society -」
- ・ 2018年 「PMI JAPAN FORUM 2018」での招待講演  
「ソサエティ 5.0時代の戦略、イノベーションとプロジェクトマネジメント」

## 教育研究業績書

I 教育活動				
1. 教育内容・ 方法の工夫	講義「ものづくりマネジメント」において、ものづくりに関わる経営全般の知識とともに、最近の題材を採り上げ、分かり易い教育を達成。	2010.4より	千葉工業大学	
	講義「ベンチャービジネス論」において、起業に必要な知識を、最先端のビジネス動向を織り交ぜ、かつ学生の興味を引き出す教育を達成。	2010.9より	千葉工業大学	
	講義「スケジューリング技法」実施にあたり、PERTの基礎から、最先端の生産計画技法まで、分かり易い実践的な教育を達成。	2010.9より	千葉工業大学	
	講義「研究開発技法」実施にあたり、「想像力」を生かした創造的研究開発の技法教育を、自身の長年にわたる研究開発事例を織り交ぜて教授することにより達成。	2011.4より	千葉工業大学	
	講義「ナレッジマネジメント」実施にあたり、実践的な知識経営実現のための教育を達成。	2011.9より	千葉工業大学	
	講義「環境マネジメント工学特論」実施にあたり、単なる環境教育ではなく、サステイナブルな環境経営を実現する教育を達成。	2011.4より	千葉工業大学 大学院	
	講義「戦略的プロジェクトマネジメント特論」実施にあたり、PM視点を有する戦略教育を、プレゼン技術醸成と共に実施する教育を達成。	2015.4より	千葉工業大学 大学院	
	上記講義「戦略的プロジェクトマネジメント特論」を英語で実施する教育を達成。	2015.9より	千葉工業大学 大学院	
	講義「ナレッジマネジメント」実施にあたり、実践的な知識経営実現のための教育を達成。	2011.9より	千葉工業大学	
	アクティブラーニング「プロジェクトマネジメント実験（ビジネス創成）」において、発想法、マーケティング、ビジネスプラン、プレゼンまでのPBL(Project Based Learning)を達成。	2010.9より	千葉工業大学	
	アクティブラーニング「プロジェクトマネジメント演習（ビジネス創成）」において、上記「実験」に加え、資金調達と採算性、リスクマネジメント教育法も確立し、実践的教育を達成。	2010.4より	千葉工業大学	

1. 教育内容・方法の工夫(続き)	アクティブラーニング「技術の社会実装のための学科間連携 PBL」を他学科教員, 学内外ボランティアとともに作成し, 実施した.	2014.4より	千葉工業大学
	ゼミ「ものづくり国際経営戦略」において, アーキテクチャ, 組織能力, 産業地理学の3つの視座から学ぶ. ミクロ経営戦略教育を確立.	2010.10より	千葉工業大学
	ゼミ「ドラッカーのマネジメント」において, マネジメントの本質を学ぶ教育を確立した.	2014.4より	千葉工業大学
	講義「技術移転に係わる目利き人材育成研修プログラム運営 H25 年度研修」により, 産学共同のプロを対象とする教育を達成.	2013.8より	JST
	講義「磁気記録媒体の競合技術」の原理から最先端技術までを網羅的に教育することを達成.	1993.4より	富士フイルム (株)
	講義「光磁気・光記録媒体」の原理から最先端技術までを網羅的に教育することを達成.	1996.4より	富士フイルム (株)
	講義「光記録概論」の原理から最先端技術までを網羅的に教育することを達成.	1998.4より	富士フイルム (株)
2.作成した教科書	光ディスクの現状と将来展望	1997.11	富士フイルム
	マルチメディア時代のキーデバイス DVDについて	1996.7	富士フイルム
	マルチメディア時代の映像記録媒体の開発動向～FDの開発動向	1995.1	日本工業技術センター
	小型フロッピーディスク (FD) の規格と評価	1984.3	トリケップス
3.教育方法・教育実践に関する発表	講演「社会実装ロボット教育の試み—介護現場を対象とした事例—」	2014.9	第32回日本ロボット学会学術講演会
	講演「PBLを用いたビジネス創成教育の改善案」	2014.9	国際P2M学会 第18回秋季研究発表大会
	報告「学科をまたぐ社会実装ロボット教育」	2015.1	工学教育 Vol.63.NO.1
	招待講演「PBLを用いたビジネス創成教育」	2015.7	日本PMIフォーラム